

令和4年度事業報告

社会福祉法人 上市町社会福祉協議会

少子高齢化に加え、核家族化などの家族形態の変容、生活スタイルの多様化・個別化などにより社会構造が大きく変化しました。これにより、地域では、孤立、ひきこもり、不登校、児童・高齢者虐待、生活困窮など様々な社会問題が顕在化しています。

当会では個別の地域生活課題を受け止め、地域住民・団体、サービス事業者、関係機関等と福祉ニーズを共有し、解決につなげる支援やその仕組みづくりのため、第4次上市町地域福祉活動計画の策定に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が制限される中、「新しい生活様式」により、少しでもつながりが持てるよう工夫を重ねながら地域福祉活動を行いました。

I. とともに支え合う「ひと(組織)づくり」

町民一人ひとりが自分にあった方法で、自ら意欲的に、地域活動や支えあい活動に参加できる体制づくりを推進しました。

1. 「住民参加による地域福祉活動の充実」

(1) 気軽な居場所づくりの推進

- ① サロン活動の実施内容検討・開催
- ② 障害者施設とふれあいいきいきサロン交流活動の促進
- ③ 世代間交流事業の実施
- ④ 子どもから高齢者の合同サロンの開催

ふれあいいきいきサロン事業(共同募金助成金事業) (表1参照)

実施地区 上市、音杉、弓庄、宮川、相ノ木、柿沢、南加積、白萩西部、白萩南部、大岩地区、白萩東部

実施内容 介護予防教室、健康教室、健康体操、異世代交流、料理講習、ウォーキング、レクリエーション、講話等

令和4年度 53か所、258回、延べ4,930人参加 令和3年度 49か所、211回、延べ5,488人参加

令和4年度ふれあいいきいきサロン開催状況 (表1)

地区名	参加人数		回数	ヶ所数	令和4年度 実施地区(各町内公民館等)
	R4年度	R3年度			
上市	641	893	40	7	東町、南町、西町、天神町三区、カミール、森元町、地域コミュニティ
音杉	2,288	1,603	89	12	音杉、北島、上法音寺、法音寺、横法音寺、大坪、稗田、正印、横法音寺 定住促進、稗田定住促進、湯上野、三日市、高齢者宅訪問
弓庄	293	241	23	4	横越、神田、和合、弓庄
宮川	558	455	57	14	若杉、若杉新、江又、中小泉、荒田、森尻、石仏、大永田、竹鼻、東江上、 中江上、江上、劔町
相ノ木	224	1,215	5	2	丸山総合公園、高齢者宅訪問、相ノ木会館
柿沢	51	37	4	4	柿沢2区、柿沢3区、女川、新屋、館
南加積	324	301	9	3	南加積会館、山加積、高齢者宅訪問
白萩西部	403	554	23	3	白萩西部公民館、堤谷、極楽寺
白萩南部	66	69	2	1	白萩南部公民館
大岩	78	118	5	2	大岩、日石寺
白萩東部	4	2	1	1	高齢者宅訪問
合計	4,930	5,488	258	53	

(2) 地区社協との連携強化

①地区社協組織の活動支援

地区社協連絡会議の開催

(日程 ・ 主な協議題 ・ 出席人数)

4月18日 ケアネット活動台帳の更新について

ボランティアサポーターの委嘱について・34人

6月20日 地域福祉懇談会の開催予定について

熱中症予防について・35人

8月22日 地域福祉懇談会アンケート調査について

「ふれあいコミュニティ・ケアネット21」ケアネットチーム員・リーダー研修会の開催について・36人

10月17日 地域福祉活動計画の評価とアンケート調査から見た上市町の現状と今後の展望について

赤い羽根共同募金のお願い・39人

12月19日 地域福祉活動計画策定の経過について

除雪について・34人

2月20日 地区別福祉推進員の推薦状況について

令和4年度事業報告書及び令和5年度事業計画書の提出について・22人

②福祉課題の地区別把握と解決への取組み支援

③介護予防事業の実施

④福祉推進員の委嘱 105人委嘱

2月6日・福祉講演会(悪質商法撃退教室)を受講・53人

⑤命のバトン事業の実施(地域歳末たすけあい募金助成金事業)

各地区社協を中心に、命のバトンを継続設置しました。(バトン内情報シート更新)

⑥地区ごとの計画に基づく活動支援

第3次地域福祉活動計画策定時で出された地域の福祉課題・生活課題について、地区ごとの計画に基づき取組みました。

(8地区策定済)

(3) ふれあい・コミュニティ・ケアネット21の推進

①高齢者、障害者等の個別支援(ケアネット等)活動の推進

・地域総合福祉推進事業(実施地区:上市・音杉・弓庄・相ノ木・柿沢・南加積・宮川地区)

(ふれあい型)

実施地区社協を中心に、ア 活動調整連絡会の開催、イ 生活支援事業の実施(ふれあいいいききサロン、世代間交流、介護予防事業を企画実施。)、ウ 他組織と連携した事業の実施及び人材リストの作成を行いました。

(ケアネット型)

ケアネットチームを編成し、一人ひとりに合った、ケース検討会、サービスプログラムの検討を行い個別の支援活動を行いました。(表2、表3参照)

・地域福祉活動推進ネットワーク促進事業(実施地区:白萩西部・白萩南部・大岩・白萩東部地区)

実施地区社協を中心に、三世代交流事業・サロン・個別支援活動等を行いました。

②個別支援活動研修会の開催

・「医療・介護・福祉の専門職と地域の協力者との合同研修会」の開催 12月19日

テーマ:認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援について

講師:谷野 呉山病院認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 石倉直美 氏

令和4年度地区別ケアネットチーム活動の内容

単位:回 (表2)

	見守り	ゴミ出し	買い物 支援	庭仕事	除雪	外出 支援	利用者 宅内	利用者 宅外	合計
上 市	7,751	100	178	4	49	46	247	4	8,379
音 杉	3,644	375	66	29	4	43	5	7	4,173
弓 庄	952	5	1	16	13	0	3	3	993
宮 川	724	43	18	7	13	30	62	45	942
相ノ木	2,199	124	18	0	37	5	9	1	2,393
柿 沢	661	51	45	1	1	1	1	86	847
南加積	2,432	63	6	15	20	184	15	13	2,748
合 計	18,363	761	332	72	137	309	342	159	20,475

	見守り・ 声かけ	話し相 手	ゴミ出し	買い物 代行	草むし り	除雪	外出 付添	児童 預かり	児童送 迎	薬の 受取	その他	合計
3年度	15,019	5,644	849	227	68	288	254	0	172	4	871	23,396

ケアネット対象者の状況(3月31日現在)

単位:人 (表3)

	高齢者	身体障害者	知的障害者	精神障害者	母子・父子世帯	その他	合計
4年度	389	21	4	1	0	4	419
3年度	365	22	3	1	0	0	391

ケアネット地域支援体制の状況 令和4年度 チーム数 419 チーム参加実人数 334人
令和3年度 チーム数 391 チーム参加実人数 251人

2.「ボランティアの養成・支援」

(1) ボランティアセンターの活動強化

- ① ボランティアセンター運営委員会の開催・連絡調整を検討
- ② ボランティア活動相談 240件(令和3年度389件)
- ③ ボランティアセンターへの登録促進 団体登録 40団体 1,798人(令和3年度46団体 1,721人)
- ④ ボランティア受入れ担当者連絡会の開催
- ⑤ ボランティア連絡協議会活動との連携

ボラ連理事会 9回開催

6月20日、27日 7月4日、11日、18日 ボランティア連絡協議会自主研修会①

演題:「スマホの使い方講座」

場所:谷口集学校

講師:谷口集学校 職員2名

9月1日 ボランティア連絡協議会自主研修会②

演題:「上市探訪」

講師:上市町観光ボランティアガイド 剣・きらめきの会

○ボランティア基金の設置(積立額 2,124,689円)

(2) 生活支援を支えるボランティアの育成

① ボランティア養成事業の促進

・資源リサイクルアドバイザー養成講座(全2回)

養成講座① 2月21日 上市町保健福祉総合センター 2階 研修室

演題:「3Rの推進(資源物の収集とリサイクル)」

講師:富山県環境政策課 廃棄物対策班 副主幹 野村昌弘氏

養成講座② 2月28日 富山地区広域圏リサイクルセンター・リサイクルプラザ

内容:施設・工場見学

講師:富山地区広域圏リサイクルセンター 職員

参加者 地区社協、ボランティア、施設職員等 33名

○レクリエーション用具の貸出

ボッチャ 3 件、輪投げ 5 件、ペタンク 1 件

②視覚障害者の外出支援ボランティアのニーズ把握

③パラスポーツ地域交流会

3月18日 丸山総合体育館 小アリーナ

パラスポーツを通じて施設利用者、職員、地区社協、ボランティア、上市高等学校ティーンボランティア等が一堂に会して交流を行いました。

参加者:町内施設利用者、職員、地区社協、ボランティア、上市高等学校ティーンボランティアサポーター 75名

指導員:富山県障がい者スポーツ指導者協議会

④NPO への支援と連携

(3)災害救援ボランティア等の養成

①要支援者の把握

○ 避難行動要支援者の把握

災害時の避難支援を希望する方に登録を呼びかけ、名簿として取りまとめたものを加除しました。

②災害救援ボランティア研修会

12月12日 上市町保健福祉総合センター 2階 研修室

演習:災害図上訓練(DIG)

講師:富山県防災士会 佐伯邦夫 氏

参加者:地区社協、ボランティア、ボランティアサポーター 29名

③災害救援ボランティアネットワークの構築

④高齢者、障害者宅の除排雪支援

⑤シェイクアウト訓練の実施

3.「すべての世代を対象として福祉教育の推進」

(1)地域における福祉教育の推進

①地域住民の福祉教育の推進

②福祉教育推進委員会の開催 8月25日・学校関係者、PTA、主任児童委員等15人

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴うボランティア活動について
- ・ボランティア活動体験作文について

③ボランティア活動オリジナル事業推進校の指定

・町社協が町内の全小中高校をボランティア活動オリジナル事業推進校に指定し、学校ごとに特色ある活動に取り組みました。

④ボランティアサポーターの育成支援(8人)

ボランティアサポーター会議(4回開催)

パラスポーツ地域交流会、地区社協活動への協力について協議。ボランティア活動相談、地区社協活動(ふれあいいいききサロン、ケアネット活動)に協力しました。

⑤ティーンボランティアサポーターの委嘱・(上市高校生・110人)

ティーンボランティアサポーター委嘱、富山県デジタルデバインド対策事業スマホサポーター養成研修受講(7人)、おたっしや家スマホ教室の実施、パラスポーツ地域交流会に協力しました。

⑥福祉に関する感想文の募集

応募 小学生の部 9点

作文審査会 11月22日(審査員:学校関係者、福祉施設関係者、福祉関係者等7人)

受賞 金賞1点、銀賞1点、銅賞1点

⑦福祉講演会の開催

令和5年2月6日 上市町保健福祉総合センター コミュニティプラザ

演 題 「高齢者等の消費者トラブルとその対処法」

講 師 富山県消費生活推進リーダー 村本典子 氏

参加者 121 人

Ⅱ. 安心して暮らせる「地域(環境)づくり」

福祉に関する町民のニーズに的確に対応できるように、福祉サービスの総合的な提供体制の充実を図り、地域で安心して暮らすことができる、生活環境の整備と思いやり溢れる環境づくりに努めました。

1. 「利用しやすい相談体制づくり」

(1) 小地域で対応できる相談支援体制づくり

役場福祉課、町民課、地域包括支援センター、かみいち総合病院、福祉施設等との連携により解決に向けた取り組みを行いました。

①相談事業実施機関との連携

②子育て相談との連携

③地域医療連携室、家庭医療センターとの連携

④行政・人権相談、消費・生活相談との連携

(2) 困りごと・孤立等を防ぐ相談

(表 4)

相談の種類	相談員	開設日	相談件数		備 考
			R4 年度	R3 年度	
一般相談	社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員	平日 8:30～17:15	442 件	477 件	福祉サービス利用、生活、介護等
心配ごと相談	民生児童委員・中部厚生センター相談員	毎月第3水曜日 13:00～15:00	7 件	6 件	生活問題、経済的・心理的問題等
法律相談 (予約制)	弁護士	第2火曜日 9:00～11:00	44 件	44 件	土地・相続・扶養金銭貸借・賠償問題等
生活福祉資金貸付相談	社会福祉士	平日 8:30～17:15	16 件	3 件	低所得、障害者、高齢者世帯等への貸付
コロナ特例貸付	社会福祉士	平日 8:30～17:15	15 件	55 件	新型コロナの影響により生活が困窮
結婚相談	結婚相談員 (相談員 5 人)	第2.第4火曜日 13:00～16:00	259 件 成立 5 組	196 件 成立 5 組	結 婚
生活就労相談	東部生活自立支援センター相談員	毎月第2または 第3火曜日 10:00～11:30	相談者 23 人	相談者 22 人	健康、就労・定着支援、対人、家族関係、家計改善、債務、コロナ特例貸付等

○生活福祉資金の貸付 富山県社協より借受人口座へ直接送金 (町社協:受付業務担当)

本則生活福祉資金貸付状況

・新規貸付 0 件 貸付中件数 5 件 償還金残高 1,003,517 円

コロナ特例貸付決定状況 (令和4年9月30日受付終了)

・緊急小口資金 上限 20 万円 9 件 1,580,000 円
 ・総合支援資金 上限 20 万円×3 か月(60 万円) 5 件 2,100,000 円

○生活困窮者自立支援事業の実施

生活就労相談、支援調整会議 各月 1 回（富山県東部生活自立支援センターとの連携）

令和 4 年度新規相談受付者 16 人

㊦○フードドライブ事業の実施

～「もったいない」を「ありがとう」～をテーマに各家庭で眠っている食料品等をご寄付いただき、支援を必要とする人や団体に提供しました。

令和 4 年度寄付件数 21 件(米、お菓子、乾麺等)

令和 4 年度提供件数 27 件(生活困窮世帯、生活就労相談利用者等)

2. 「住み慣れた地域で誰もが安心して生活するための福祉サービスの提供」

(1) 住民の強みを生かした自立支援の取組み

① 居宅介護支援事業の実施（表 5 参照）

ご本人、ご家族の思いを尊重し住み慣れた地域で自立した生活が出来るよう、介護支援専門員（専任 3 人）がケアプランを作成しました。

居宅介護支援計画作成者数及び介護給付費(ケアプラン作成)

(表 5)

		居宅介護支援		介護予防・日常生活支援総合事業		合計 (円)
		利用者数(人)	介護給付費(円)	利用者数(人)	受託料(円)	
R4 年度	年間合計	1,094	13,123,520	70.0	327,600	13,451,120
	月平均	91.1	1,093,626	5.8	27,300	
R3 年度	年間合計	1,182	14,129,280	62.0	283,900	14,413,180
	月平均	98.5	1,177,440	5.2	23,658	
増減		△88	△1,005,760	8	43,700	△962,060

② 訪問介護事業の実施（表 6 参照）

ホームヘルパー10人(常勤6人非常勤4人)により訪問介護活動を実施。資質向上に努めるとともに、法人本体事業の特性を活かし、介護サービスを通して地域とのつながりに努め、各関係機関と連携を密にしました。

○介護保険事業の実施

訪問介護事業の実施: 要介護 1～5 の利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助を提供しました。

介護予防・日常生活支援総合事業の実施: 要支援 1・2 事業対象者の利用者宅を訪問し、利用者と一緒に家事を行い、自立をした生活ができるよう支援しました。

○障害福祉サービス事業の実施

障害者への居宅介護サービスを提供。職員の資質向上に努め、良質で安定した居宅介護を行いました。

○生活支援事業の実施

公的サービスでは対応することのできない多様なニーズに対応し、ホームヘルパーを派遣しました。

訪問介護の年間利用実績(延べ人数)

(表 6)

	居宅介護		介護予防・日常生活支援 総合事業		障害福祉サービス		生活支援事業		合計額(円)
	件数 (人)	金額(円)	件数(人)	金額(円)	件数 (人)	金額(円)	件数 (人)	金額 (円)	
令和 4 年度	533	29,742,470	307	6,456,291	64	1,714,473	64	86,210	37,999,444
令和 3 年度	548	29,477,585	343	6,954,031	70	1,854,972	96	157,600	38,444,188
増減	△15	264,885	△36	△497,740	△6	△140,499	△32	△71,390	△444,744

③生きがいデイサービス(おたっしや家・ミニデイサービス)事業の実施 (表7・表8参照)

④配食サービス事業の実施 (表7参照)

(表7)

実施事業名	実施事業内容	利用者数等
③生きがいデイサービス室管理事業		
おたっしや家 (町指定管理事業)	毎週月～金曜日 5日実施 健康チェック、介護予防、レクリエーション、小・中・高校生との交流等	65歳以上の高齢者 延べ2,731人
ミニデイサービス事業 (町委託事業)	毎週木曜日 健康チェック、介護予防、入浴等	65歳以上の高齢者 延べ736人
④配食サービス事業 (町委託事業)	月2回、民生委員・ボランティア・食改等の協力により、配食・見守り等	ひとり暮らし高齢者等 延べ42人

利用者の内訳

単位:人 (表8)

年度		生きがいデイサービス室管理事業				ミニデイサービス事業			
		利用料				利用料			
		R3年度 730円 (7月～740円) R4年度 740円				R3年度 835円 R4年度 835円 (7月～855円)			
		開所日数	男	女	計	開所日数	男	女	計
令和 4年度	合計	231	256	2,475	2,731	42	73	663	736
	1日平均		1.1	10.7	11.8		1.7	15.7	17.5
令和 3年度	合計	193	239	2,146	2,385	33	9	564	573
	1日平均		1.2	11.1	12.4		0.2	17.0	17.3

(2) 児童・子育て支援

①子ども食堂の運営支援

②放課後児童対策事業(こどもの城、放課後児童クラブ、学校)との連携支援

③子育てサロンの開設支援

④安全パトロール隊による登下校の見守り活動との連携

⑤子ども110番見守りとの連携

(3) 買い物や移動支援への取組みの実施

①外出支援に関する取組み

②ケアネット活動による買い物代行支援・332件(令和3年度227件)

③注文販売に関する取組み

④行動援護事業の実施検討

⑤新型コロナウイルス感染者等生活支援(買物代行)事業・10件

3. 「地域福祉を推進するためのネットワークの強化」

(1) 専門職との連携

①福祉専門職及び専門機関による連携強化

地域ケア会議と連携

町認知症高齢者等見守りネットワーク会議と連携

「上市町高齢者虐待防止ネットワーク事業」と連携

滑川・中新川障害者自立支援協議会との連携

地域精神保健福祉推進協議会との連携
地域生活福祉・就労支援協議会との連携

(2) 障害者との共生ネットワーク

① 障害者福祉関係者連絡会の開催

② 障害者の生きがい事業の支援

- ・障害者とのふれあい事業
- ・障害者の生きがいづくり事業（共同募金助成金事業） NPO法人ワークハウス 剣
- ・おもちゃの図書館事業（本館—上市児童館・分館—相ノ木こどもふれあい館内）

③ 日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方が、権利を侵害されることなく、安心して生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を実施しました。

- ・相談支援件数 967 件
- ・福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス 契約件数 14 件(令和 4 年度事業利用者数)
利用者内訳（認知症高齢者等 4 人、知的障害者 2 人、精神障害者等 7 人、その他 1 人）
（生活保護受給者 3 人、非課税者 10 人、課税者 1 人）
- ・書類等預かりサービス 契約件数 7 件
- ・生活支援員の配置 13 人

(3) 社会福祉協議会活動基盤強化

① 社会福祉大会や広報誌の発行、ホームページの充実による社協活動周知の徹底

○ 第 49 回町社会福祉大会の開催

5 月 30 日 大会実行委員会・17 人

7 月 8 日 表彰、受表彰者 14 人、金婚のお祝い 16 組、大会宣言、基調講演 参加総数 226 名

上市町社協会長表彰（敬称略）

社会福祉事業協助者の部 浅野隆治、安達維玖子、海下彰、響田敏子、郷田規昭、酒井重人、
平良脩、劔民謡、富樫小夜子、西田真理子、蓮本美喜子、宮崎順子、
八倉巻正雄

上市町善意銀行理事長感謝状

篤志寄付者の部 柴田昭

大会宣言 「新しい生活様式」を踏まえた福祉ニーズや複雑化・深刻化する地域生活課題への対応と
各団体や事業所と協働を図り、地域福祉活動の充実・拡大を一層進めていくことが必要。
「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」に向け、努力することを誓う。

基調講演 演題 「コロナに負けるな フレイル予防」
講師 小杉爆笑劇団

○ 広報誌の発行（共同募金助成金事業）

広報誌 “上市ふくしNOW”を発行し情報を発信 5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・3 月
全戸配布（7, 771 世帯 令和 4 年 4 月現在）

○ 町社協ホームページでの福祉情報の提供 <https://www.kamiichi-hearty.jp/>

② 理事会・評議員会の活性化

監査 6 月 2 日

理事会 6 月 7 日・8 人、6 月 24 日・8 人、12 月 9 日・8 人、3 月 22 日・8 人

定時評議員会 6 月 24 日・6 人

評議員会 3 月 30 日・9 人

評議員選任解任委員会 12 月 20 日書面表決

③第4次上市町地域福祉活動計画の策定

作業委員会 6/29、10/11、12/5、2/13

作業委員9名・委員長 富山短期大学准教授 明柴聰史 氏

策定委員会 10/5、1/11、3/20 [R5年度6/5(書面表決)]

策定委員12名・委員長 富山短期大学教授 関 好博 氏

アドバイザー 富山県社協事務局次長 池田浩一郎 氏

アンケート調査 地区社協 9月 5日～10月 28日

ボランティア 10月 3日～10月 28日

子育て世帯 10月 24日～11月 18日

施設利用者・家族 1月 11日～1月 27日

④職員資格取得の状況

社会福祉士 3人(1人) 精神保健福祉士(1人)、介護福祉士 9人(5人)、主任介護支援専門員 2人、
介護支援専門員 1人(2人)、看護師 1人、ホームヘルパー2級 1人(1人)、保育士 2人(3人)

⑤地域福祉活動への参画促進

・職員リーダーミーティングを6回開催し、事業運営について協議

・職員研修委員会の開催（職員研修実施内容を協議）

開催日 4/13、6/8、7/13、8/10、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/8

・職員研修会を11回開催し職員の資質向上を推進

【事例検討会】

開催日 第1回 6/16、第2回 7/13、第3回 8/24、第4回 12/15、第5回 2/16

ファシリテーター 高岡市社会福祉協議会事務局次長 古野智也 氏

参加者 社会福祉士・看護師・介護支援専門員・精神保健福祉士・保健師・介護福祉士・行政職員・民生
委員など

開催日 第6回 3/14(地域連携研修会と同時開催) 上市町保健福祉総合センター 2階 研修室

ファシリテーター 合同会社 HUGKUMI 小島寛 氏

参加者 社会福祉士・看護師・介護支援専門員・介護福祉士・精神保健福祉士・保健師・保育士・教育セン
ター職員・民生委員・行政職員など

【伝達研修】 第1回 5/24 第2回 9/14、9/26 第3回 10/13、10/17 第4回 11/21、11/22
第5回 1/26

⑥福祉サービス苦情相談解決窓口の設置

⑦第三者委員会

福祉サービス苦情相談解決窓口の設置及び苦情の受付、対応について助言（苦情 5件）

1月 26日 第三者委員会の開催・第三者委員 3人 事務局等 10人

⑧上市町社会福祉法人連絡会の活動（町内で福祉施設・事業所を運営する11法人）

包括的支援体制モデル事業セミナー、シンポジウムへの参加

3月 14日 地域連携研修会・30人

研修:「上市町子ども家庭総合支援拠点について」

上市町福祉課児童班 矢部清美 氏

事例検討:「社会福祉法人間の連携基盤づくりのための事例検討」

講師・ファシリテーター:合同会社 HUGKUMI 業務執行役員 小島寛 氏

事例提供者:上市町福祉課児童班 白石和美 氏